

目次

『急性腹症診療ガイドライン』発刊にあたって／ iii
 『急性腹症診療ガイドライン 2015』作成にあたって／ v

第Ⅰ章 クリニカルクエスチョン一覧	1
第Ⅱ章 ガイドライン作成方法	7
① 本ガイドラインの目的、利用者、対象者	8
② 本ガイドラインを使用する場合の注意事項	8
③ ガイドラインの作成法	8
④ ガイドライン作成ならびに評価に関する委員、公聴会、パブリックコメント	8
1) ガイドライン作成団体	8
2) ガイドライン作成委員会	9
3) ガイドライン評価委員会	9
4) 公聴会、パブリックコメント	9
⑤ 文献検索法、エビデンスレベル、推奨の強さ	10
1) 文献検索法	10
2) 文献のエビデンスレベルの分類法	10
3) 推奨度分類	10
⑥ 改訂	10
⑦ 資金	10
⑧ 本ガイドライン普及推進の工夫	10
1) 出版ならびにホームページによる閲覧	10
2) 患者・家族向けの解説	12
⑨ 利益相反	12
第Ⅲ章 急性腹症の定義(CQ1)	15
第Ⅳ章 急性腹症の疫学(CQ2-15)	19
第Ⅴ章 急性腹症のアルゴリズム、腹痛部位と疾患	33
第Ⅵ章 急性腹症の病歴聴取(CQ16-31)	39
第Ⅶ章 急性腹症の診察(CQ32-48)	57

第VIII章 急性腹症の検査(CQ49–75)	79
第IX章 急性腹症の鑑別診断(CQ76–101)	121
第X章 急性腹症の初期治療(CQ102–106)	155
第XI章 急性腹症の教育プログラム(CQ107–108)	171
索引	175

略語一覧

AAA：腹部大動脈瘤
ACS：急性冠症候群
CDC：Centers for Disease Control and Prevention
DIC：播種性血管内凝固
EP：異所性妊娠
IVP：経静脈性腎孟造影検査
KUB：腹部単純 X 線検査(kidney, ureter, bladder)
LR：尤度比
MDCT：マルチスライス CT
NOMI：非閉塞性腸間膜虚血
NPV：陰性適中率
NSAIDs：非ステロイド性抗炎症薬
NSAP：非特異的腹痛
OR：オッズ比
PCT：プロカルシトニン
PID：骨盤内炎症性疾患
PPV：陽性適中率
RR：相対リスク
SBP：特発性細菌性腹膜炎
SLE：全身性エリテマトーデス
SMA：上腸間膜動脈
US：超音波検査

英語で obstruction と ileus は意味が異なるが、日本語訳では腸閉塞と同一表記することが多い。本ガイドラインでは、本来の意味に準じては bowel obstruction を腸閉塞(機械的閉塞による)と、ileus をイレウス(麻痺性)と表記する。CQ1 参照。